

# 退任のご挨拶

## 役員退任のご挨拶

前理事

ひさ じま さだ かず  
久 島 貞 一



この度、平成28年より6年間務めてまいりました北海道医師会理事の職を退任させていただくことになりました。この間、長瀬清前会長、松家治道会長はじめ副会長、常任理事、理事の先生、事務職員の皆様には大変お世話になりました。理事会に出席するたびに新しい出会いがあり、そのたびに新鮮な発想に触れることができたことは、自分自身が地域の医師会会長として一つ一つの課題を克服するうえで大きな力になりました。また大学同期の小熊豊君と佐古和廣君が入れ替わる形で副会長を務められ、理事会の席でお会いして近況を話しながら、その活躍

されている姿を見ることも大変嬉しいことでした。最新の医療界の情報がいち早く届く場でもありましたが、会員に上手く伝えられたのか、自身の非力さに忸怩たる思いは残ります。新型コロナウイルス感染症が拡大してからはWeb会議が続き皆様と直接お会いしてお話しする機会がなくなり大変残念な気持ちでした。退任に当たり一つだけお願いを許していただければ、さまざまな困難の中、運営を続けている道内各地の医師会立看護職養成施設に対しては、その存在意義に鑑み、包括的なご支援を今後とも行政との連携の中で強化していただきたいということです。今年度、釧路市医師会会長に就任した柴田香織先生が新理事として皆様にお世話になりますがよろしく願いいたします。私もこれからは一人の医師会会員として地域医療に少しでも貢献できればと考えております。コロナ感染症第7波が現実になるうとしている今、北海道医師会現役職員の皆様が今後とも健康で益々ご活躍されることを心からお祈りいたしながら役員退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。